

令和5年3月20日

学童大会の帯同審判制度について

札幌軟式野球連盟
理事長 牧 由

麗日の候 学童チームの皆さまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。世はWBCの国際大会で盛り上がっておりますが、北海道はまもなく野球シーズンを迎えようとしております。

さて、本年度からチームの皆さまのより多くの参加を求めて「学童帯同審判制度」が始まります。これは当連盟の審判員の高齢化と審判員不足を補っていただくことと、大会により多くのチーム参加をお願いしたいという考えから実施することになりました。ご理解をいただきたくよろしくお願いたします。

つきましては学童チームから2名以上の審判予定を登録いただいてチーム登録と一緒にご提出ください。すでに少年(中学生)大会では5年ほど前から実施しており、かなりの成果を上げていただいております。

今年は「全道少年軟式野球大会・札幌支部大会」のみに参加いただくことになりました。全道少年軟式野球大会は5月3日初日を迎えますが、実質本格的な大会は6月に実施予定でございます。よって、全道少年軟式野球大会の3回戦まで試合に参加いただきます。

その前に、「審判講習会」を4月23日(日)と4月30日(日)に実施します。ほぼ1日の講習会となります。

現在予定している大会において、1試合につき、各チーム1名 合計2名の審判の方が、1塁3塁の審判をしていただく予定です。自チームの試合はできませんので、第一試合のチームの方は第2試合の審判、第2試合チームは第1試合というように審判の割り当てをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。今年からチームのベンチは25名まで参加できるようになりました。講習会では今年のルール変更及び試合形式の実践も体験していただきますのでよろしくお願いいたします。

まずはチーム登録の際に審判予定者2名以上の登録と講習会参加の申込をしてください。参加費は1000円です。